

社会情報学部

2012年度AO入試ガイド

AO入試の導入について

社会情報学部では、一発勝負の学力試験では測りにくい、学習への目的意識や意欲・熱意を重視する観点から2008年度入試よりAO (Admission Office) 入試を導入しています。

求める学生像 (アドミッションポリシー)

AO入試では、「求める学生像」を提示して受験生を募集します。社会情報学部の「求める学生像」は次の通りです(詳細は2012年度「入学試験要項」で再度確認して下さい)。

<社会情報学部の求める学生像>

現代情報社会を担おうとする方で、次のいずれかに該当する人。

1. 文系、理系を問わず広い視点から社会の情報現象を把握し、理解したいと考えている人。
2. インターネット、データベースやマルチメディアなど、情報通信技術に関して、より深く学びたいと考えている人。
3. メディア、コミュニケーション、社会調査などに関心があり、学習を通じて現代社会について理解を深めたいと考えている人。
4. 地域社会の諸活動に関心を持ち、積極的に取り組みたいと考えている人。

社会情報学部 AO入試の2つの方式

社会情報学部では、次のようにA・B二つの方式を設けています。A方式については、今年度より地方会場(旭川市、北見市、帯広市、釧路市、青森市、函館市)を設けました。地方会場の日程等の詳細については「札幌学院大学 2012年度AO入試ガイド」で確認して下さい。

- ◆ **A方式(課題個別指導型)** - 担当教員と面談の上課題を決め、個別指導を受ける。
インターネット面談が可能です(本学会場のみ)!
- ◆ **B方式(ゼミナール体験型)** - 設定したテーマから一つを選び、ゼミナールを通じて指導を受ける。
ゼミ体験を通じて自分の適性を判断できます!

このパンフレットについて

このパンフレットは、社会情報学部の2012年度AO入試の特長を2011年3月時点で説明したものです。日程等の詳細については、「札幌学院大学 2012年度AO入試ガイド」で再度確認して下さい。

AO入試の流れ

AO入試は次のような流れで進みます。各ステップのポイントも見ながら、A・B両方式の全体像をつかんで下さい。なお、募集人員は両方式合わせて25名です。

A方式－課題個別指導型 <本学会場>

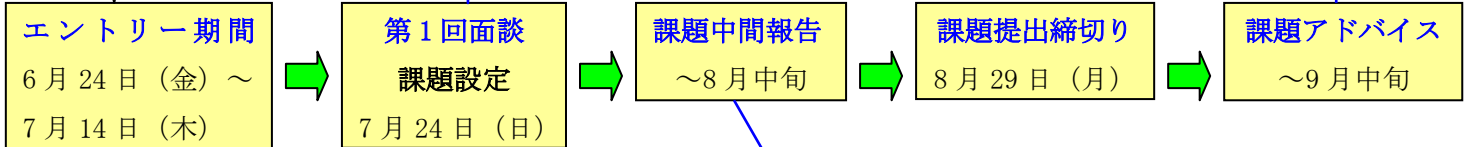
第1回面談で志望動機を確認した上で、その**関心に沿って課題を設定**します。そして第2回面談で、提出された課題について**教員から1対1の指導**を受けます。

地方会場については、日程が異なります。「札幌学院大学 2012年度AO入試ガイド」で確認して下さい。

志望動機の確認と課題に対する希望を確認した上で、**課題を設定**します。この課題を通じて自分を伸ばすつもりで積極的に選択して下さい。なお、希望者には**インターネット面談**が可能です。→最終ページ参照



提出された課題に対する簡単な**コメント**と、第2回面談に向けての**アドバイス**を電子メール等で行います。これを参考に第2回面談に備えましょう。



エントリーシートには志望動機をしっかりと書いて下さい。その内容に応じて指導することになるので、**素直にそして正直**に書くことが大事です。

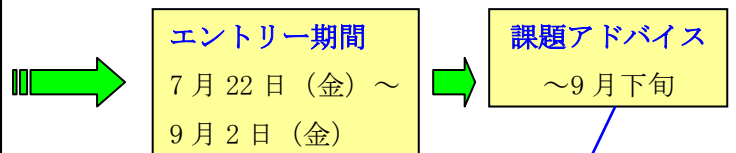


電子メール等で、課題の進行状況に関する中間報告をしてもらいます。その際、課題に関する**質問も受け付け**ます。



B方式－ゼミナール体験型

募集時に示した2つのテーマから一つを選択し、**エントリー時にその課題を提出**します。そして、その課題を発展させる内容の**ゼミナールに参加**し、指導教員から指導を受けます。



エントリー時に、希望するテーマを選択し、その指示に従って**課題を提出**してもらいます。テーマはWebページ作成や調査資料の分析など、社会情報学部の学習の入り口となるようなものです。

提出された課題への**コメント**と、ゼミナールへ向けての**アドバイス**をメール等で行います。これを受けてゼミナールに備えましょう。

A0入試 こういう人に向いている！

「求める学生像」に適合した人が対象ですが、次のような意向を持っている人にも向いています。

A・B共通：自分がやりたいことが社会情報学部でできるか確かめたい。

A方式：1回の面接などでは、自分をうまく表現できない。だからコツコツやるところを見て欲しい。

B方式：社会情報学部で学びたいのだが、自分にどの程度できるのか不安がある。そこで、ゼミナールに参加することで自分の適性を確かめたい。

提出された課題を発展させる形で指導を行います。**指導は1対1**でじっくりと行うので、自分が達成できた点、そしてまだ十分ではなかった点が見えてきます。それによって大学での学習目標も明確になって来ます。



第2回面談

課題指導

9月24日(土)

出願許可

10月7日(金)

単に課題ができたかどうかではなく、課題に取り組む姿勢から、**今後伸びる見込み**があるかどうかを評価します。

ゼミナールに取り組む姿勢から、**今後伸びる見込み**があるかどうかを評価します。

ゼミ体験

10月1日(土)

出願許可

10月7日(金)

出願期間

10月7日(金)～
10月18日(火)

出願時には、課題に応じたレポート等を提出します。合否は書類審査にて行います。

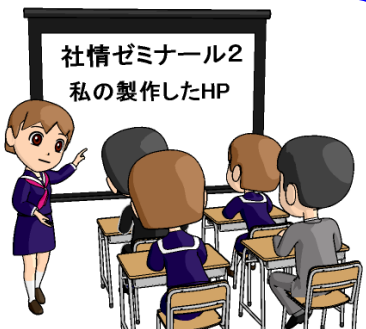
書類審査

合否発表

10月28日(金)

合格から入学までの間に、高校での学習に配慮しながら**入学前学習**を指導します。2011年度合格者の場合は、本人の要望に応じて、**HP制作**や**情報理論の基礎**の学習などを行いました。これで、充実した大学生活をスタートできます。

自分が選んだテーマのゼミに参加します。ゼミでは教員の指導の下、課題で調べたことを発表する、あるいは課題で制作した作品を発展させるなどの体験型の学習に取り組んでもらいます。大学で必要な、(受け身ではなく)**積極的に取り組む姿勢**を評価します。



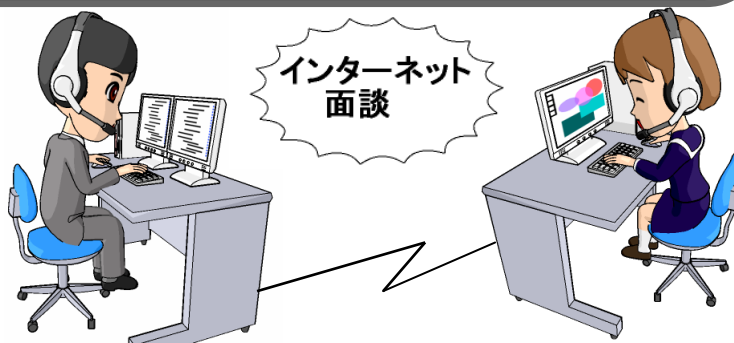
インターネット面談が可能！（A方式：本学会場のみ）

A方式の場合、次のように **Skype*** を用いた**インターネット面談**を選択することができます。これにより、自宅からでも面談を受けることが可能になります。

- ◆ 第1回面談で希望する場合：エントリーシートにその旨記載する。
- ◆ 第2回面談で希望する場合：第1回面談時に担当教員に申し出る。

2回ともインターネット面談を希望することも可能です。

ブロードバンド環境があれば、どこからでも面談が可能に！



*）Skype とはインターネット上で動作する通信ソフトです。詳細は次のページを参照して下さい。 <http://www.skype.com/intl/ja/home>

Skype はこのページから無償でダウンロードできます。ただし、面談では Web カメラ（最低 30 万画素以上が必要）付きのヘッドセットの購入が必要です。

Skype を用いた面談を希望する人は、上の Web ページを参照するなどして、自分の環境でビデオ通話が支障なくできることを確認しておいて下さい。

<インターネット面談受験者 A さんの感想>

自宅から面談を受けられるという、時代を先取りした方法で大学入試を行えたという感動もあり、合格できて本当に嬉しかったです！
インターネットをよく使っている人たちには、ぜひ挑戦してもらいたいです！



操作はカンタン！

問い合わせ先

札幌学院大学入試課

〒069-8555 北海道江別市文京台 11 番地

TEL 011-386-8111 (代表)

FAX 011-386-8133 (入試課直通)

E-mail nyusi@ims.sgu.ac.jp

札幌学院大学ホームページ <http://www.sgu.ac.jp/>

入試情報 <http://www.sgu.ac.jp/entrance/exam>